

# しあわせ

vol.20  
2020年9月



## 「今宮神社 東門」

この地に平安京ができる前から疫病を鎮める神さまを祀る神社として篤く信仰されてきました。  
また「玉の輿」祈願でも知られ、良縁を願う多くの人びとが訪れます。神社に近い織物の町・西陣の八百屋に生まれたお玉さんは江戸幕府3代将軍・徳川家光の側室となり、5代将軍・綱吉の生母として女性では最高位の従一位まで上り詰めました。このことが「玉の輿」の語義になったともいわれています。秋の境内は、西陣の絹織物のように鮮やかな錦に輝きます。  
〔歩きたくなる街 京都だより〕(昭文社)より

トピックス 法人との出会い

社会福祉法人 京都社会事業財団 理事 深尾 憲一

施設ナウ! 各施設の令和元年度 事業報告

お知らせ 新しい施設長の紹介

NEWS こんにちは、京都からすま病院です

法人職員 2,500名

 社会福祉法人 京都社会事業財団  
Kyoto Social Welfare Foundation

## 各施設の所在地

京都桂病院  
京都桂看護専門学校  
にしがも舟山庵  
にしがも透析クリニック  
西陣病院  
京都からすま病院  
北野保育園  
成逸センター  
京都厚生園  
京都厚生園松尾の家  
京都厚生園山田の家  
つばさ園・ももの木学園  
ゆずの木ホーム  
榎の木ホーム  
松陽児童館  
ライフ・イン京都  
二条保育園  
二条保育園  
昭和保护園  
京都桂川園  
京都桂川園久世障害サービスセンター・ショートステイ

 社会福祉法人 京都社会事業財団  
Kyoto Social Welfare Foundation

法人本部 〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17番地(京都桂病院内) TEL075-391-5811代(内線8606) / FAX075-393-0140  
URL <http://kyoto-swf.com> E-mail [honbu@kyoto-swf.com](mailto:honbu@kyoto-swf.com)

季刊広報誌 しあわせ 発行/社会福祉法人 京都社会事業財団 編集/法人本部事務局 発行日/2020年9月25日 印刷/有限会社 アクト

各施設の  
令和元年度  
事業報告

## 施設ナウ!

各施設の最新情報をお届けします!



## ももの木学園

## 事業総括

入所児童は、元年度末には定員を満たしましたが、通所は、6名の在籍にとどまりました。長期に渡り不適切な養育を受けた年長児童は、新しい生活に慣れるまでに時間がかかり、自傷行為や暴力等の問題行動を呈します。施設として努力していますが、児童相談所や学校、医療機関の協力があってこそ運営ができていますと実感しています。

## 重点項目

- 1 事業の確立、継続  
入所児童は、目標の定員となりました。低年齢児の入所が望まれます。中学生女子の自傷行為が頻発しており、医療機関等を利用しています。
- 2 登校できない子どもへの対策  
学習したいという児童には、学習塾や家庭教師で学習の機会を保障しています
- 3 治療構造に関して  
引き続き被虐待児の治療法の確立を目指しています。

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28  
TEL: (075) 381-3699 FAX: (075) 393-4316  
E-mail: momonoki@sage.ocn.ne.jp



## つばさ園

## 事業総括

国は里親推進、小規模化且つ地域分散化、ケアニーズの高い子どもの受入を求めています。当園は、地域小規模児童養護施設を今後4か所に増やし、本館でケアニーズの高い子どもを受け入れる方向性を考えています。児童養護施設と児童心理治療施設がそれぞれの専門性を生かし、子ども達のニーズに応えるために慎重に進めてまいります。

## 重点項目

- 1 虐待（特に性暴力・性虐待）児童への支援
- 2 方法論の明文化
- 3 自立支援
- 4 里親推進
- 5 地域小規模児童養護施設の支援の充実

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28  
TEL: (075) 381-3650 FAX: (075) 393-4316  
E-mail: tsubasa@rondo.ocn.ne.jp



## 京都厚生園

## 事業総括

令和元年度は、各事業の職員配置やケア体制の見直し、業務の標準化や効率化に努めました。また、働き方改革への対応を含む職員処遇に関わる取り組みの推進や法人内高齢4施設間での連携強化と組織づくり・体制の見直し、当園の将来を見据えた課題整理を行いました。職員確保の課題等から実績確保に苦慮した1年となりました。

## 重点項目

- 1 経営基盤の確立・事業の継続性
- 2 人材確保と育成・ケア体制の見直し
- 3 地域との連携・貢献活動の推進
- 4 40周年記念事業

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46番地  
TEL: (075) 391-7870 FAX: (075) 392-0191  
URL: http://www.kyotokouseien.com/  
E-mail: kswf@kyotokouseien.com



## 松陽児童館

## 事業総括

乳幼児から中高生までの幅広い異年齢の子どもとその保護者が集い、様々な活動を行う中で直接的な関わりから子どもたちの抱える問題点や生活上の福祉課題などの解決に向けて全職員が情報を共有しながら支援に努めました。また各種団体と連携し基幹ステーションとして子育て支援事業にも取り組みました。

## 重点項目

- 1 児童館事業  
子どもとその保護者を対象に子どもたちの健全育成と子育て支援の促進
- 2 学童クラブ事業  
環境整備に配慮して安心・安全な生活の場を提供
- 3 学区地域子育て支援ネットワーク連絡会  
基幹ステーションとして関係機関、施設と連携
- 4 職員育成  
資質向上を目的に行政研修と館内研修

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28  
TEL: (075) 392-6311 FAX: (075) 392-6312  
URL: http://www.kyo-yancha.ne.jp/syouyou/index.html  
E-mail: syouyou@kyo-yancha.ne.jp



## 法人との出会い



社会福祉法人 京都社会事業財団

理事 深尾 憲一

(弁護士)

昭和49年12月5日、肺に異変が生じた私は、京都桂病院の呼吸器科で診察を受けました。自然気胸で、入院、手術を要する、との診断でした。高校時代に2回ほど自然気胸で休学したことがあったので、今回は、将来の再発を避けるためにも手術が必要とのことでした。当時、大学3年生で司法試験を目指す身としては、この時期のブランクはありがたいことではなかったのですが、病気とあればやむなし、で、1月23日の退院までの年末年始を病院で過ごすことになりました。

初めての入院生活は、日常とはかけ離れた時間の流れで、とても新鮮でした。担当の先生は勿論、看護婦（当時の言い方）の皆さんもとても親切で、行き届いた看護をして下さるうえに、年齢も職業も様々な同室の患者さん達とお話するのも、世間知らずの大学生としてはきわめて興味深く、この入院生活は私にとっていい思い出ばかりです。

「京都桂病院 創設70周年記念誌」による

と、昭和49年の年末年始と言えば、日本で最初の呼吸器専門病院であった「呼吸器センター」（現D棟）の新築完成の直前でありました。まさに呼吸器疾患に定評のあった病院の躍進の時期であったと思われまます。自分がどの病棟のどの病室にいたのか、今となっては記憶がおぼろですが、病院全体の活気、職員の方々のきびきびとした動き、大勢の患者さんがいるのに落ち着いていた病棟の雰囲気、などにより、とても居心地がよかったことをよく覚えています。

記念誌を拝見したところ、この法人は、発祥当時、国民病、亡国病と恐れられ、治療薬もなまなま国中に蔓延していた結核の患者さんを救う、という崇高な目的のもとに創設されたという歴史があります。素人知識ですが、結核は、排菌者の咳による飛沫に含まれる結核菌を吸いこむことで空気感染すること、新型コロナウイルスが空気感染するかどうかは定かではありませんが、飛沫感染を用心しなければいけない現在の未曾有のコロナ禍の状況と一致して

います。昔も今も、確かな治療法が無い状態で、患者さんの救済にあたる医療従事者の皆さんの尽力には、ほんとうに頭が下がります。後年、個人的な思い出のある京都桂病院を営むこの法人の理事に自分になるとは、考えもしなかったことでした。私は、京都生まれで、大学も京都、弁護士登録も京都、今も生まれ育った上京区の実家にいるという、実に狭い地域で生きて来た人間ですが、野口雅滋会長が中学高校の同窓であったというご縁で、平成27年4月から理事の末席に連なっております。同じ同窓で理事・評議員であった近藤善弘くんとは親友で、一緒に勤められることを喜んでいました。が、その急逝は痛恨事でした。

あまりお役に立てていないことを恐縮に存じながら、いろいろなご縁のあるこの法人の業務に関われることを嬉しく思っております。



# 各施設の 令和元年度 事業報告

# 施設ナウ!

各施設の最新情報をお届けします!

## 京都桂病院

### 事業総括

地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院として質の高い高度急性期・急性期の医療を地域に提供することを基本方針とします。救急強化と連携強化を行うことを通して、新入院増加を図ったが、3月は新型コロナウイルス感染症にて医療抑制がかかったことも一部影響し、新入院増加は1か月1,014人とどまりました。

### 重点項目

- 1 新棟建築で病床機能強化と療養環境改善を行い、がん・救急・緩和・急性期・出産環境を充実させた。
- 2 救急の強化による新入院患者増加を目指したが目標に達しなかった。
- 3 院内外のコミュニケーションを深め、紹介増加を目指した。

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17番地  
TEL: (075) 391-5811 FAX: (075) 381-1069  
URL: <http://katsura.com>  
E-mail: [info@katsura.com](mailto:info@katsura.com)



## 昭和保育園

### 事業総括

3歳児からの保育料無償化や給食副食費の実費徴収等、国の施策による変更がありました。また、昭和保育園は昨年創立90周年を迎え、有志の皆さまのご協力の下に記念行事を執り行うことができました。年度末は新型コロナウイルス感染予防対策との戦いでしたが、みんなが無事に安全に過ごすことができました。

### 重点項目

- 1 子どもたちの体と心が元気に育つよう丁寧な保育の提供
- 2 地域も一緒に子育て支援（こぶたクラブ、タッチケア）
- 3 次世代育成のための園内研修と職員の健康管理
- 4 防犯システムを整備し安全を強化

〒605-0994 京都市東山区鞆町七条下ル一橋宮ノ内町15-4  
TEL: (075) 561-0091 FAX: (075) 561-0743  
URL: <http://showahoikuen.net>  
E-mail: [showa.renga@showahoikuen.net](mailto:showa.renga@showahoikuen.net)



## にしがも舟山庵

### 事業総括

令和元年度は施設の基盤整備に向け、組織の再編成、各種委員会の機能強化、指導職の役割の明確化を進めました。また、研修・給与・人事面においては法人内共有化を意識しつつ、夜勤専従職員の導入、夜勤手当の増額、就業形態の見直し等の改善を行いました。年間稼働率は若干前年度を上回り、透析入居比率は目標を達成しました。

### 重点項目

- 1 入居者の生活の質の重視  
深刻な人員不足、医療との課題に対応
- 2 施設の基盤作り  
2年間に69項目の業務改善が前進
- 3 安定的経営基盤の確保  
目標達成に向け全員で実績を共有
- 4 地域との連携  
前年同様の活動を継続

〒603-8471 京都市北区大宮西山ノ前町3-1  
TEL: (075) 495-1121 FAX: (075) 495-1161  
URL: <http://funayamaan.com/>  
E-mail: [funayamaan@room.ocn.ne.jp](mailto:funayamaan@room.ocn.ne.jp)



## 京都桂川園

### 事業総括

開所20年を迎える大きな節目でしたが、コンプライエンス上の問題発生など、様々な課題を残す厳しい年度でした。

また、職員確保・育成・定着にも苦慮しましたが、現場スタッフの工夫や努力により利用者への個別支援の質は維持できたと自己評価します。年度末には「法人」や「高齢事務センター」の指導・支援を受けて、令和2年度に向けて改善の準備を進めることができました。

### 重点項目

- 1 組織風土の形成
- 2 職員満足度向上
- 3 生産性の向上

〒615-8033 京都市西京区下津林東大般若町32番地  
TEL: (075) 391-1675(代) FAX: (075) 391-1640  
URL: <http://katsuragawaen.com/>  
E-mail: [info@katsuragawaen.com](mailto:info@katsuragawaen.com)



## にしがも透析クリニック

### 事業総括

令和元年度も目標を「安定した維持透析と自立した日常生活への支援」とし、努力を重ねてきました。当面の課題として挙げている維持透析・新規患者の確保については、患者送迎サービスの受け入れ体制を新たに整備しました。また、にしがも舟山庵入居者の受け入れ数はこれまでの22名から24名に増加しました。

### 重点項目

- 1 新規患者の受け入れ増対策の実施
- 2 病診連携の重要性を考慮、西陣病院、にしがも舟山庵、在宅医療に携わる医師や看護師との連携
- 3 高齢透析患者の課題である看取りや終末期医療に対する取り組み、認知症への対応

〒603-8471 京都市北区大宮西山ノ前町3番地の1  
TEL: (075) 495-1131 FAX: (075) 495-1144  
E-mail: [nishigamo-hdc@room.ocn.ne.jp](mailto:nishigamo-hdc@room.ocn.ne.jp)



## 西陣病院

### 事業総括

今期も各職種のすべての職員が最善を尽くし、「地域に密着した良質な医療を高いレベルで提供する」という基本方針を遵守した結果、予算は達成出来なかったが良い成績を残すことができました。新型コロナウイルス感染症の影響が令和2年1月～3月に表れており、各職員は不安を抱えながらも最善を尽くせたと考えています。

### 重点項目

- 1 ケアミックスの病院体制を維持
- 2 地域での病診・病病連携の強化
- 3 チーム医療の充実

〒602-8319 京都市上京区今出川通七本松上ル  
TEL: (075) 461-8800 FAX: (075) 461-5514  
URL: <http://www.nishijinhp.com>  
E-mail: [nisijin@nisijin.net](mailto:nisijin@nisijin.net)



## 二条保育園

### 事業総括

令和元年10月から2号 コロナ禍の卒園式  
認定（3歳児から5歳児）の保育無償化と保育園給食の実費徴収が始まりました。保育無償化により保育利用時間が延びる事が懸念されましたが、保護者と丁寧な対応を心掛けた結果、懸念する事態とはなりません。新型コロナウイルス感染が全世界に拡がり、日本でも1月以降感染が増大し、3月に入り感染防止のため登園自粛等の対応を余儀なくされました。年度末を迎えても感染拡大の勢いは収まらず、次年度も引き続き対応強化の必要が予想されます。

### 重点項目

- 1 昨年大津市で発生した交差点での保育園児死亡事故を受けて、園外散歩の安全対策の見直しをしました。
- 2 WBGT値28度を超える日が多発し、熱中症対策に万全を期しました。
- 3 新型コロナウイルス感染防止のため登園自粛の要請や行事の見直しを致しました。  
※令和元年度の保育は「園児の命を守る」を強く意識した1年となりました。

〒604-8404 京都市中京区聚楽廻東町7  
TEL: (075) 841-0139 FAX: (075) 841-6019  
URL: <http://nijo-hoikuen.sakura.ne.jp>



## 北野保育園

### 事業総括

●「パワーある保育の実践」「いのちと人権をはぐくむ子育て支援」  
子どもたちの人権を守り最善の利益を考え、豊かな保育内容の発展と保育機能の一層の充実につとめました。  
●「乳幼児の発達と食とのかかわり」(食育の推進)  
「食べる楽しみをはぐくむ保育」を、保育園を媒体として発信することに尽力しました。

### 重点項目

- 1 待機児童解消促進事業（産休明け・育休明け保育の推進）
- 2 一時預かり事業・障がい児保育事業
- 3 地域活動事業（翔鸞地域子育て支援ステーション事業・小学校、地域連携）
- 4 職員研修

〒602-8318 京都市上京区七本松通五辻上ル老松町103-60  
TEL: (075) 462-6491 FAX: (075) 462-9128  
URL: <http://kyoto-kitanohoikuen.jp/>  
E-mail: [kyoto.kitanohoikuen@spice.ocn.ne.jp](mailto:kyoto.kitanohoikuen@spice.ocn.ne.jp)





京都警察病院の特徴の一つとして、共済組合立の職域病院ではありましたが設立当初から一貫して地域住民の診療も担っていたことがありま

す。近年は病院利用者の90%以上が地域の住民でした。今後も京都府警、皇宮警察等との関係は可能な限り維持しながら、今まで以上に地域住民の健康維持・増進を身近なレベルでお手伝いすることが当院の使命であると考えています。

医療・介護施設に信頼される病院を目指して、その目標に向かって職員一丸となって研鑽に努めております。

**DATA**  
**京都からすま病院**  
 〒603-8142 京都市北区小山上総町14  
 TEL(075)491-8559 FAX(075)492-4304  
 E-mail: info@karasuma-hp.com  
 https://www.karasuma-hp.com

4月から京都社会事業財団の一員となりました。よろしくお願ひいたします。

都桂病院の敷地内に結核病棟を運用している時代もありました。

今回、病院の喫緊の課題として民営化を検討しておりますところ、京都社会事業財団に入れていただけることになりました。

当院の常勤医は内科、外科、整形外科のみです。各科の一般的疾患に加え、内科は消化器、外科は消化器、乳腺、整形外科は関節疾患、関節リウマチなどを得意としています。また、呼吸器、血液、脳神経、循環器、消化器の各内科や婦人科、麻酔科、放射線科など主に京大医学部の先生がたにご協力いただきながら運営しております。

今回縁あって京都社会事業財団の一員となりました。財団各施設との連携を密にし、歴史ある財団の活動に恥じない医療を提供するとともに、その活動を支えるしつかりとした経営基盤を整えるよう日々努めております。どうか、京都からすま病院をよろしくお願ひいたします。



# 京都からすま病院です

京都からすま病院 院長 誉田 芳孝

こんにちは、

## 各施設の 令和元年度 事業報告



### ライフ・イン京都

#### 事業総括

「中長期的な視点で将来の準備を始める年」と位置付け、設備の更新や施設の整備を行うなど、ご入居者の生活環境の維持向上に向けた取り組みを行いました。また、課題である実績向上に向けて、居室の原状回復工事を過去にない規模で実施するなど、入居推進活動のための準備も進めました。



#### 重点項目

- 1 新規入居の推進
- 2 職員の確保と介護機器の導入による職員の負担軽減
- 3 入居者満足度の向上
- 4 地域に根差したホームとしての活動

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46-2  
 TEL: (075) 381-1870 FAX: (075) 381-1899  
 URL: http://lifeinkyoto.com  
 E-mail: kswf@lifeinkyoto.or.jp

### 京都桂看護専門学校

#### 事業総括

令和元年度の学生数は、新入生39名に在学生80名を加え119名となりました。(定員120名) 令和2年4月入学生は、10月~2月の推薦・一般入学者選抜試験に62名の応募があり、選考の結果34名の入学が決定しました。本年度の卒業生は39名で、全員が看護師国家試験に合格し、すべて法人内施設(京都桂病院)へ入職しました。



#### 重点項目

- 1 教育活動の充実  
教員1名が京都府専任教員養成講習会を受講。8月に講師会議を開催。
- 2 学習環境の整備  
基礎看護学実習室給湯器2台の更新。
- 3 質の高い学生の確保  
学校公開・説明会を8回開催。学外ガイダンスへの参加。

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46-14  
 TEL: (075) 381-0971 FAX: (075) 382-5445  
 URL: http://katsura-nsc.net  
 E-mail: katsura-nsc@nifty.com

## 新しい 施設長の 紹介

4月1日に着任された  
施設長をご紹介します



京都からすま病院  
 院長 誉田 芳孝  
 略歴 前 京都警察病院 院長



西陣病院  
 院長 葛西 恭一  
 略歴 前 西陣病院 副院長



松陽児童館  
 館長 垣本 ルミ  
 略歴 前 安井児童館 児童厚生員



京都桂川園  
 園長 源野 勝敏  
 略歴 前 京都厚生園 園長



京都厚生園  
 園長 澤田 恵美子  
 略歴 前 京都厚生園 副園長